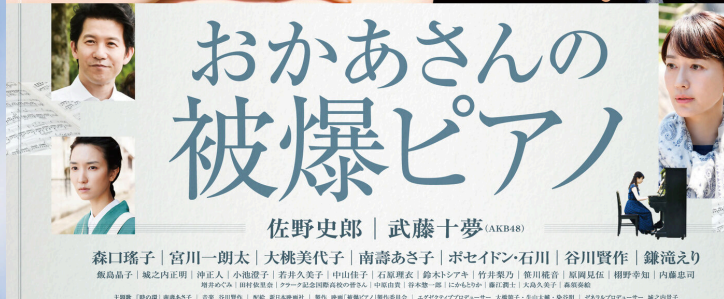


映画「おかあさんの被爆ピアノ」上映



©2020映画「被爆ピアノ」製作委員会 字幕付き



STORY

昭和20年8月6日に広島で被爆したピアノを持ち主から託された調律師・矢川光則。彼自身も被爆二世。爆心地から3キロ以内で被爆したピアノは被爆ピアノと呼ばれる。

矢川は、現在数台の被爆ピアノを託され修理。調律して、それを自ら運転する4トントラックに載せて全国を回る。

東京で生まれた江口菜々子は大学で幼児教育を学び幼稚園教師を目指しているものの将来について漠然としている。

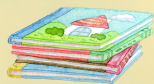
被爆ピアノの一台を母・久美子が寄贈していたことを知った菜々子は、被爆ピアノコンサートに行き、矢川と出会う。

矢川を通して被爆ピアノ、広島のことを考えるようになり、祖母のことを知るうちに自身のルーツを探していく。

母・久美子はどうして広島から出て行ったのか？
祖母・千恵子が菜々子に伝えたかったことは？
調律師・矢川がなぜ被爆ピアノを伝える活動をしているのか？

菜々子はルーツを辿り、被爆ピアノの活動を辿りながら次第に何かを見つけていく…

※「おかあさんの被爆ピアノ」HPより



夏のおはなし会

8月2日(日) 午前11時~11時40分

「平和に関する本の読み聞かせ」

場所:図書館 協力:さやまおはなしの会

原爆死没者の慰霊と平和黙とうを

8月6日(木) 午前8時15分

8月9日(日) 午前11時2分

8月15日(土) 午後0時

昭和20年(1945年)8月6日広島に、9日長崎に原子爆弾が投下され、多くの尊い命が奪われました。両市ではそれぞれの日に、原爆死没者の冥福と世界の恒久平和を願う式典が開かれ、原爆投下時刻に合わせて1分間の黙とうが捧げられます。また、15日には全国戦没者追悼式が行われ、午後0時に1分間の黙とうが捧げられますので、皆さんも職場や家庭で黙とうをお願いします。